

環境マネジメント

環境リスクマネジメント

製品リコールへの対応

製品に環境上の不具合が発生する可能性があると判断した場合には、法令に基づき適切かつ迅速にリコールなどの市場措置を実施しています。2016年度、環境に関わる製品リコールはありませんでした。

緊急事故への対応

万一、環境汚染を引き起こす恐れのある事故や緊急事態が発生した場合に備え、事業所および各部門では、日頃から処置手順を明確にして、汚染の防止や緩和に努めています。緊急事態に備えた訓練を定期的に行い、処置手順の習熟と改善を行っています。

2016年度、敷地から油を含む水の流出事故が発生いたしましたが、処置手順に従った対応を迅速に実施し、流出拡大の防止と回収を実施しております。本件については関係官庁への届出を行い、再発防止に取り組んでいます。

汚染の防止

大気汚染、水質汚濁の防止に関しては、燃焼装置の排ガスや工場排水に関する法規制値よりも厳しい自主管理値を設定し、定期的に測定と監視を継続しています。土壌、地下水については、かねてより実施している敷地内観測井戸によるモニタリングを強化しています。

※ 各事業所に関する環境データの詳細は「日本国内の環境取り組み報告2017」のページ下部よりPDFにてご覧ください。
<http://www.honda.co.jp/environment/report/>

法令の遵守

2016年度、環境に関する重大な法令違反はありませんでした。また、環境に関する苦情のなかで、正式な苦情処理制度を通じて申し立てされたものはありませんでした。